

# 宮代地区まち協通信

第106号

発行日  
令和 4年10月1日  
2022年



南宮大社の“真”

## 信州伊那高原赤そばの里

撮影：福本莞さん

長野県上伊那郡箕輪町  
九月末頃に出会える一面  
濃いピンク色に染まる  
「赤そばの里」では、見渡  
す限りそばの花で埋め尽  
された夢のような景色に  
出会えるスポット。その  
広さは東京ドーム程で、  
花畑には散歩道も設けら  
れており、南アルプスの  
仙丈岳も遠くに観ること  
が出来ます。



## 「宮代太鼓踊りの活動と課題」 宮代太鼓踊り保存会 会長 岩田 静夫



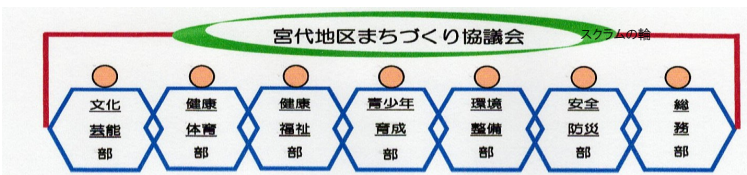
私達は「宮代太鼓踊り保存会」といいます。江戸時代初期頃から大早魃の際に南宮大社で雨乞い祈願や奥社へ登拝し太鼓をたたき雷神感応を祈り、恵みの雨の後には盛大な太鼓踊りが奉納された由来によるものです。宮代には大領、愛宕、北野神社等6社に全20柄の大太鼓があり、全部参集して大きい順に太鼓踊りが演じられていました。戦後は各社で夏祭りに奉納されてきました。昭和42年頃には有志の強い要望で老若一体の保存会が結成され、現在に至っています。最近までは本保存会と宮代小学校4～6年生伝統委員会の合同練習や各行事に参加し演技に努めていましたが、現在はコロナ禍での練習短縮と行事中止等で演奏機会が減少傾向になっています。特に今後の課題として本保存会の会員数が現在7名と危機的状況にあります。

9月末各社氏神様大祭の太鼓踊り奉納に支障をきたす恐れがあるため、早急な対応に迫られています。今紙面をお借りしまして、宮代伝統の本保存会にご理解頂き、一人でも多くのご参加を賜りますようお願い申し上げます。さらに加えて、残念ながら本保存会には過去のデータ等がありません。遅ればせながら今後将来に遺すべき関係資料を収集したいと考えています。どうか皆様が個人的にお持ちの、宮代太鼓に関する写真・テープ・録画等がございましたら、まちづくりセンターまでお知らせ下されば幸いです。これからも宮代太鼓踊りを通して地域の皆様と子供達の交流や伝統文化にふれあい、宮代に誇りを持ち好きになってもらうように活動をしてまいります。皆様の一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。



## 目次

- 宮代太鼓踊り保存会
- 10月行事予定
- 「スポーツの日」を契機に
- 活動報告 <8月・9月の活動>
- 文芸の広場 中山社 北野俳句会
- 《南宮大社宝物殿のお宝》について



# 行事予定



※各種教室などには別途チラシや案内書、又は記載されていないサークル活動や団体活動等があります。詳細はまちづくりセンターまで問い合わせ下さい。

	事業名	日時	曜日	場所	備考
1	土曜授業「ふるさと歴史教室」	1日 9:30~11:30	土	宮代地内	小学校6年生
2	千之子ども教室「子どもの陶芸教室」	7日 9:00~12:00	金	まちセン 大会議室	小学校4年生
3	水墨画教室	7日・21日 19:00~21:00	金	まちセン 大会議室	会員募集中
4	伝統文化「お花教室」	8日・22日 9:30~11:30	土	まちセン 大会議室	小学生①部 9:30~ ②部 10:30~
5	絵手紙教室	9日・23日 13:00~15:00	日	まちセン 大会議室	会員募集中
6	千之子ども教室「さつまいも収穫体験」	13日 8:30~9:30	木	さつまいも畑	小学校1・2年生
7	いきいきふれあいサロン	15日 9:30~11:30	土	まちセン 大会議室	会員募集中
8	ふれあいスポーツ宮代2022	29日 8:30~15:00	土	宮代小学校 運動場	

## 「スポーツの日」を契機に



「スポーツを楽しむ、他者を尊重する精神を培うとともに健康で活力ある社会の実現を願う」が趣旨の国民の祝日として、1966年（昭和47年）に10月10日が「体育の日」として制定されました。これは東京オリンピックの開会式が10月10日だったことから決定されました。2000年（平成12年）に10月の第二日曜日に変更され、2020年（令和2年）に名称を「スポーツの日」と改められ今日に至っています。

小さな子ども達から「スポーツの日」について聞かれたら、楽しく運動をする日で、みんなと協力して遊ぶことで、友達ともっと仲良くなれるし、身体を動かすことで身体が丈夫になり、ケガをしにくくなったりすること、10月の2回目に来る月曜日が「スポーツの日」と説明すると理解してもらえます。

余談ですが、2023年（令和5年）より「国民体育大会」が「国民スポーツ大会」に改称されます。

平均寿命が高くなるにつけ、齢を重ねても、ハツラツと自立して暮らせる「健康寿命」が注目されるようになり、厚生労働省も、普段より十分間多く動くことを心掛ける取り組み“プラステン”を推奨しています。身体を動かすという意味でも、家族みんなで何か大会に参加したり、自分だけでもスポーツイベントに出掛けてみるなど、とにかくスポーツに関連することを、この日を機会に体感してみても如何ですか。



# 活動報告



8/20~9/19

みれあうこころ集こづ  
明るく住みよいまちへ  
宮代地区まちづくり協議会

8月28日「整体クラブ」が開催され、参加者の皆さん  
気持ちよく身体を動かしておられました。



9月2日「水墨画教室」が開催され、先生のお手本  
をコピーして水墨画の練習をされました。



9月2日 二階和室でヨガ教室が開催され。指導者の  
動きに合わせてヨガを楽しめました。



9月2日 「鈴虫の会」のメンバーの方が、「広報垂井」を  
障害のある方のために朗読し録音されました。



9月3日 宮代小学校で、草刈りボランティアの方々と、  
PTAの役員で、二学期に合わせて校庭の草刈りをされました。



9月10日 北山山林管理組合の役員会が開催され、  
不法投棄に対する具体的な対策につき説明されました。



9月11日「絵手紙教室」が開催され、参加者が持参した  
画材を描き、先生の指導で絵手紙を完成されていました。



9月14日 書道教室「玉筆会」が開催され、先生のお  
手本で、皆さん真剣に練習されていました。



\*秋風に 屋号白染め 揺る暖簾

久保田 絃義

\*丈高き こと競ひをり 花紫苑

大羽 志津子

\*秋雨の 朝陽で光る 松葉の瑠璃

傍島 法苑

\*秋燕 親子で帰る 北の空

石垣 珠泉



## 南宮大社宝物殿のお宝について 其の十九

写真は許可を頂き撮影しました

「宮代の自然と歴史・文化を愛する会」 藤塚 久勝

### 南宮大社宝物殿のお宝 刀剣類について

南宮大社の宝物は、刀剣・胴丸・駅鈴・絵画・文書など多種多様でその数も多い。

昨年4月から、刀剣類を除き、宝物館で土・日・祝日等に一般公開されている。刀剣類は、11月3日(文化の日)のみ公開される。

刀剣類は数十振りへのぼり、文化財として価値が高い逸品が奉納されており、中でも、刀剣の「三条」「康光」と古代の「銚」の三点は、国指定の重要文化財で、戦前は国宝であった。

太刀名「三条」

「三条」は昭和初期に南宮大社に奉納された。平安時代の山城(京都)三条に住んだ、名匠 三条宗近の作で、長さは二尺五寸八分(78.2cm)国内には国宝の「三日月宗近」を含めて五本ほどしかなく、その一振りがこの南宮大社にあるのです。

太刀名「康光」

「康光」は備前国長船の名匠、康光の作。室町時代応永五年(1398年)美濃守護 土岐頼益が奉納したものではないかとされている。こちら長さは二尺五寸八分(78.2cm)

銚 無名

奈良時代の鉄製の銚二口、見た目は槍に見えるが、この時代に槍は存在しなかったため銚と呼ぶのが正しい。槍は南北朝時代に初めて登場しました。

11月3日は何の日ですか？

「文化の日」ですが、南宮大社の刀剣類が年一回一般公開される日です。



11月8日 金山祭通称「鞆祭」

現在、関ヶ原古戦場記念館では「南宮山のその時、その後、今」と題して「三条」「藤原兼定」の剣、南宮大社が再建された時の棟札、造営文書等が展示されています。

10月23日まで

### <編集後記> 相手を幸せにする笑顔

コロナ禍が長引き、マスク生活が続いています。顔が見づらいから表情に気を遣わなくてもいいし、社会生活の中で人に対する際の緊張感がなくなってしまう。しかし、表情は目つきに表れますから何時だって笑顔でいたいものです。多様な価値観をもつ人達がいる社会でそれぞれが気持ちよく過ごすには、言葉だけでなく、そこに笑顔があるかどうかで相手への伝わり方が違ったものになると思います。笑顔で機嫌の良い人が沢山いる社会にしたいものです。

### 10月・11月の休館日

10月4日(火)・11日(火)  
18日(火)・25日(火)  
11月1日(火)・8日(火)  
15日(火)・22日(火)  
29日(火)

### 編集・発行

〒503-2124  
不破郡垂井町宮代664番地4 宮代地区まちづくりセンター  
TEL・FAX: 0584-22-1010



宮代地区まちづくり協議会 西川 一明

E-mail: miyashirokou@town.tarui.lg.jp



まちづくりセンターから西の方角の風景

紙面充実へ皆さまのご意見をお寄せ下さい